

女川町長 須田善明 殿

2025年1月17日

乾式貯蔵施設設置計画に、不同意等を求める申し入れ書（案）

女川町議会議員 阿部律子

女川町議会議員 高野 晃

東北電力（株）が計画している乾式貯蔵施設設置について、私どもは女川町の約2200世帯のほぼ全世帯を対象にしたアンケート調査を進めてきました。

2025年1月6日までに届いた回答を集計したところ、回答数は187通に達しました。11月23日から配布を始め約50日足らずの短期間、寒さ厳しい時期に回答してくださったことについて、私どもは貴重なものとして心から感謝しています。なお、アンケートの自由記述欄に72件もの意見が寄せられました。

回答の最大の特徴は、回答者の52%に当たる98世帯が乾式貯蔵施設計画は「わからない」と回答していることです。しかも「一時保管」について「あいまいで、決まっていないことが多すぎる」との回答者は127世帯68%で、これまでの東北電力（株）の各戸訪問だけでは、町民の理解は全く得られていないことが示されています。「東北電力は説明会を開くべき」との設問に127世帯68%が「必要だ」と回答を寄せています。

使用済み核燃料の処理・処分問題は、将来世代にわたる重要な課題です。

こうした中で、乾式貯蔵施設に「反対」が120世帯64%で最も多く、「わからない」が39世帯21%、「賛成」は28世帯15%でした。

現状では女川町が乾式貯蔵施設を受け入れる条件はまったくないと判断しています。

重要なことは、安全協定にもとづき女川町が意思表示するに当たり、「住民の理解」が大前提ですが、東北電力による住民説明会も行わず、町当局による、住民の意向を公式に把握する手続きは何もとられていません。

- (1) 東北電力に住民説明会を行うよう、要請してください。
- (2) 住民の意向調査を町独自で行ってください。
- (3) 住民の理解が得られないまま、乾式貯蔵施設の地元同意は行わないでください。

以上